

## ISRM 11<sup>th</sup> Congress 参加報告

国際岩の力学学会第 11 回大会 (ISRM 11<sup>th</sup> Congress) が 2007 年 7 月 9 日から 7 月 13 日にかけて、ポルトガル・リスボンの Congress Center Lisbon (CCL) において開催された。7 月 9 日から 11 日までは一般セッション、12 日は特別セッション、そして 13 日は Technical Visit という日程である。また、この日程の前後には、ISRM Council Meeting や Workshop が開催された。メイン会場となる CCL は、テジョ川に面し、4 月 25 日橋 (Ponte de 25 Avril) に近い地区にある。バスやトラムにて来場可能とプログラムには案内されていたが、リスボン市の中心部からはやや離れているため、主だったホテルからは、バスによる送迎があった。

4 年ごとに開催されるこの会議は、40 年前、リスボンの地で第 1 回会議が開催されている。この間の開催地を見ると、欧州 5 回、北米 2 回、オーストラリア、日本 (東京, 1995)、南アフリカ各 1 回である。今回の会議のプログラムには、「The Second Half-Century of Rock Mechanics」の言葉を見つけることができる。第 1 回会議開催の地で、岩盤力学の、この 40 年間の発展を振り返り、そして、新たな視点と発展をという組織委員会からのメッセージがこめられているようである。

さて、今回の会議には、7 つのテーマが準備されていた。それらのテーマとそれぞれへの投稿件数を見ると以下のようなようである。

Theme	Papers
T1 - Rock Engineering and Environmental Issues	26
T2 - The Path from Characterization to Modelling	90
T3 - Slopes, Foundations and Open Pit Mining	46
T4 - Tunnels, Caverns and Underground Mining	75
T5 - Earthquake Engineering and Rock Dynamics	27
T6 - Petroleum Engineering and Hydrocarbon Storage	13
T7 - Safety Evaluation and Risk Management	9

このような資料からも、岩盤の評価とモデル化あるいはトンネルや斜面などの構造物を対象とした研究が多く報告されている様子がわかる。7 つのテーマそれぞれについて、Keynote Lecture と General Report があり、その後、3 会場に分けて Parallel Session が開かれるという形式でプログラムが組まれていた。計 286 件の投稿より 127 編が Parallel Session での口頭発表となっていた。2 分冊にまとめられた概要集は 1300 ページを超えるかなりの量であり、エコノミークラス持込最大 20kg の数字を気にしながら、帰国された方もおられたのでは? と思える程の Proceedings となっている。

参加登録者の総数は 550 名余 (List of Participants より)、この内、日本からの参加登録者は 57 名となっていた。12 日に実施された Specialized Session は、ISRM の JTC がオーガナイザーとなって開催したセッションである。一般発表として寄せられた原稿の中から、予め準備されたテーマに沿うものが振り向けられたようである。計 9 つの Specialized Session における発表件数は 58 件であり、発表論文を収録した CD が組織委員会から配布されている。

11 日午前には、2007 年度の Rocha Medal 授賞式と受賞記念講演があった。ご存知のように、2007 年度の受賞者は、安原英明氏 (愛媛大学) である。Thermo-Hydro-Mechano-Chemical Couplings that Define the Evolution of Permeability in Rock Fractures と題しての講演である。偶然とはいえ、安原氏の留学先の恩師

Derek Elsworth 教授（ペンシルバニア州立大学）は 20 年前の Rocha Medal 受賞者である．母校（京都大学）ならびに留学先の恩師への謝辞を述べて受賞記念講演を締めくくった．

Banquet は，11 日に Tapada da Ajuda Pavillon にて開催された．これは，ISRM 新総裁（2007-2011）J.A.Hudson 氏の挨拶と次回会議開催地へバトンタッチの場でもある．次回第 12 回は，2011 年 10 月 16 日から 21 日まで北京で開催予定である．ちなみに，次期組織委員会からのメッセージは，「Harmonizing Rock Mechanics and the Environment」である．

（報告：西村 強（鳥取大学））



写真 1 Congress Center Lisbon (CCL)



写真 2 セッションの様子



写真 3 会場内の様子・展示ブース





写真 4 Rocha Medal 授賞式において  
(左より岸田先生(京都大), 安原先生(愛媛大), Derek Elsworth 教授(ペンシルバニア州立大学))



写真 5 Banquet の様子